

第8回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

平成23年8月2日(火) 14:00~15:30

場所：高知共済会館4階 浜木綿の間

出席者

評価委員：宮田速雄(委員長) 伊野部重晃 木村靖二 寺田覚
船橋英夫

県：村山文化生活部副部長 土居私学・大学支援課長 宮地チーフ
石田

高知工科大学：西郷副学長 浜田統括本部長 大塚財務部長他

委員長

年度業務実績報告書について、法人から説明をお願いします。

高知工科大学

・・・説明・・・

委員長

項目はどのように立てたのか。

高知工科大学

年度評価実施要領に基づいている。

委員長

昨年度の評価に比べてS評価が減少して、その分A評価が増えている。
南海地震等に関して、高知大学と連携しているのか。

高知工科大学

高知大、東北大、東大と連携している。

A委員

学部生の就職率の母数は、就職希望者の全員か。

高知工科大学

母数は、就職希望者から公務員、自営、進学者を除いたものであり、
学部生全体の6割。

委員長

研究者として大学にとどまる方はどのくらいいるか。

高知工科大学

学部から修士課程への進学者が約25%。

委員長

就職先は県外が多いのか。

高知工科大学

総数では県外が多いが、本学の特徴として県内希望者も多い。しかし、
ジョブマッチングが問題。

A委員

課外活動の重点分野は。

高知工科大学

23年度から特別推薦制度を創設し、スポーツで県大会ベスト8以上、
評点3.5以上、4年間スポーツを続ける意思がある者を対象としており、
重点種目は卓球とバレーボール、ソフトボール、バスケットボールとし

ている。それ以外の種目も制度の対象外ではない。

委員長

文化系クラブについては。

高知工科大学

大学に文化系クラブはあるが、特別推薦の対象にはしていない。大学として、活動支援はしている。

委員長

工科大はよさこい祭りに毎年出ているが、大学としての関わりは。

高知工科大学

基本的には学生、教職員の自主的な活動であるが、大学と後援会が経費の一部を支援している。

委員長

次に、財務諸表について法人から説明をお願いします。

高知工科大学

・・・説明・・・

B委員

実績報告書でS評価された項目について、資金的、経費的にどうだったのか説明できないか。例えば、スクールバスの配備と固定資産の関係、教員の増員はA評価だが、これによる人件費の増加などについて、分かる形で教えてもらえたら。

S評価、A評価をした項目が、資金的にはどうだったのか、経費的には予算とどうつながるのか。

高知工科大学

新しい施策を実施すれば出費が増える。大学は削れるものは削る努力をして、最終的にはバランスを取っている。

例えば、各高校に送付してきたパンフレットを精査して、必要なもの、まとめることができるものを削減して、その分を人件費、設備に回している。

B委員

例えば、就職支援とキャリア支援がS評価だが、21年度と22年度のコストの違いは。

高知工科大学

現在4年生のマネジメント学部生に対しては、昨年度から強力に就職支援を実施しており、かなり経費をつぎこんでいる。

委員長

費用対効果はすぐに数字が出てきにくい。評価はむつかしいところがある。

法人からの説明と質疑応答は以上とする。

・・・法人職員は退席・・・

委員長

財務諸表について、ご意見ををお願いします。

B 委員	<p>損益計算書上、赤字になっており、目的積立金の取崩しによってプラスが出ている。これがいけないとは言わないが、あえて指摘しておく。財務諸表に問題はない。</p>
A 委員	<p>実績報告書 P 9 の (7) ① には「運営諸経費の節減に努めることより・・・財源を確保し・・・機器や施設の新規導入、更新等を行った」とあるが、それほど出せるのか。努力はされたと思うが、絞れば出てくるのであれば、当初の運営諸経費に無駄があったのではないかと考えられる。財務諸表に問題はないと考える。</p>
委員長	<p>他に意見がなければ、原案どおり承認することとしたい。</p>
他委員	<p>意見なし</p>
委員長	<p>剰余金の繰越については、業務実績評価と関連しており、評価の結果を待って判断したい。 評価書案について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・・・年度評価実施要領の改正案と評価書案を説明・・・</p>
委員長	<p>昨年度の実績評価では、改善を要する点があったのか。</p>
事務局	<p>職員研修が不十分であった。これ以外は問題なく、大項目評価ではすべて 5 段階評価の 5 と 4 であった。</p>
A 委員	<p>5 段階評価の 3 でも合格だが、実際には 4 が多い。5 はノーベル賞等の特筆すべき実績がないと与えにくい。 評価する際は、エビデンス、具体例、数字があればよい。どこの大学も不利な点は書かないし、自信のない部分については抽象的、一般的な記述が多くなる。 先程、就職について尋ねたが、就職内定率が 9 割を上回る中、就職できなかった学生に対して、大学はどのような手だてを取っているか。これは大学に対する一種の要望事項のようなものだが、心がけてほしい。 ちなみに、私学では就職対策として、大学にとどまることを認めている。学費はかかるが、学生である方が就職上有利。</p>
委員長	<p>自分の会社でも、採用試験で自ら就職留年生であることを明かす学生が珍しくない。企業が新卒者を優先することが一因。</p>
A 委員	<p>その結果、大学に在籍する 4 年生が増えている。私学の場合、増えすぎると国の補助がカットされるので問題。</p>

宮田委員長	<p>評価書案は原案のとおりとし、なお追加意見がある場合は8月9日までに事務局までお知らせいただき、修正については、委員長に一任をお願いします。</p> <p>また、剰余金の繰越しについては、次回、業務実績に対する評価を経て、評価委員会として判断したい。</p> <p>事務局から、今後のスケジュールの説明をお願いします。</p>
事務局	<p>・・・説明・・・</p>
A委員	<p>業務実績報告書と評価書は公表されるのか。</p>
事務局	<p>いずれも公表される。</p>
A委員	<p>先程尋ねたが、運営諸経費の節減により機器や施設の導入、更新の財源が確保されたとするのは、他の国公立大学では考えられない。他大学は鼻血も出ない状況。</p>
事務局	<p>財務部長が説明したが、財務諸表のP14に、目的積立金の取崩しが記載されている。今回の決算はこの取崩しにより収支均衡を図り、最終的に約500万円が余った。公立大学法人化して、広報費用等は削減したが、目的積立金を取崩してやり繰りした部分もある。</p>
B委員	<p>年度計画を立てるときには年度予算があったはずだが、年度予算からの部分が削られて、どこへ回ったかが分かれば、A委員の疑問に答えられるはず。自分たちは、予算書は見ずに決算書しか見ていない。</p>
委員長	<p>予算と実績を対比して、予算比〇%という数字があれば、評価できる。</p>
事務局	<p>予算上は、目的積立金を全額取崩すことにしている</p>
委員長	<p>目的積立金の取崩しを前提として、なおかつ余ったのであれば、予算の立て方が甘いということになりかねない。</p>
事務局	<p>次回、剰余金の議論をお願いします。</p>
委員長	<p>本日の会は、これで終了する。(了)</p>